

議会だより



新しい議会がスタート

議長・副議長を選出
各委員会構成が決定

もくじ

議会構成紹介	2	令和6年度予算	4
議案等審議	6	請願・陳情	9
一般質問	10	閉会中議会活動	15
次回定例会の日程	16		

那珂市議会議員改選

新しい議員による議会がスタート

正副議長、常任委員会など、新しい議会の構成をご紹介します。



議長

木野 広宣

「あいさつ」

市民の皆様と、前向きな議論をする機会が増えたことに少し安堵しております。議員一人一台のタブレットを導入し、効率的な議会運営のためICT化を進めており、議会の見える化にも取り組んでおります。

より良い市政を実現するため、議長として議会改革の先頭に立ち、さらなる開かれた議会の構築を目指し、議員同士の柔軟かつ豊かな発想を交えながら討議を重ね、一つ一つの課題を解決してまいります。

市民の皆様にご理解とご協力をお願いいたします。



副議長

富山 豪

「あいさつ」

那珂市誕生より数え二十年目の節目となる年に那珂市議会副議長という大任を拝しますこと、誠に光栄でありますとともに、その職責の重さを心に強く感じております。

議会が持つ使命として「具体的な政策の最終決定」と「行政運営への意見と監視」が挙げられます。この二つの使命が完全に達成できることを目指すと同時に、さらに開かれた議会の実現に向け、議長を支えまして公正円滑な議会運営を図るべく努力してまいりますので、引き続きのご理解を賜りますようお願い申し上げます。

総務生活常任委員会

主に、市の政策や企画、総務、財政、市民や自治組織、環境、防災、消防、市議会の事務のほか、他の委員会に属さない事項について審査する委員会です。



- (写真右から)
- 木野 広宣 委員
 - 桑澤 直亨 委員
 - 君嶋 寿男 委員
 - ◎小池 正夫 委員
 - 萩谷 俊行 委員
 - 渡邊 勝巳 委員

産業建設常任委員会

主に、農業、商工業、観光、道路、都市計画、建築、上下水道、農業委員会の事務に関する事項について審査する委員会です。



- (写真右から)
- 大和田和男 委員
 - 笹島 猛 委員
 - 小宅 清史 委員
 - ◎寺門 勲 委員
 - 福田耕四郎 委員
 - 遠藤 実 委員

教育厚生常任委員会

主に、障がい者福祉、子育て、高齢者福祉、介護保険、保険年金、健康福祉、生涯学習、教育委員会の事務に関する事項について審査する委員会です。



- (写真右から)
- 富山 豪 委員
 - 鈴木 明子 委員
 - 花島 進 委員
 - ◎寺門 厚 委員
 - 原田 悠嗣 委員
 - 榊原 一和 委員

原子力安全対策常任委員会

原子力関連施設の安全対策などを所管します。

- ◎小宅 清史 委員
- 花島 進 委員
- 原田 悠嗣 委員
- 渡邊 勝巳 委員
- 萩谷 俊行 委員
- 笹島 猛 委員

議会運営委員会

議会の円滑な運営のための調整を行うほか、議会改革の推進を担当します。

- ◎大和田和男 委員
- 寺門 厚 委員
- 鈴木 明子 委員
- 寺門 勲 委員
- 小池 正夫 委員
- 君嶋 寿男 委員

◎…委員長、○…副委員長

令和6年度のお金の使い方が決まりました

一般会計予算

231億円

特別会計予算総額

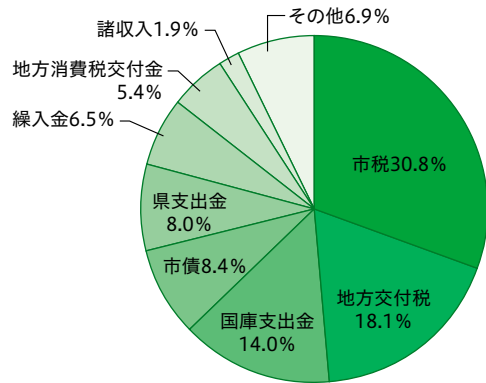
114億8370万円

市長から令和6年度の予算案が提出されました。予算の審議は、3月19日・21日・22日の3日間にわたり、各常任委員会に付託して行いました。その結果、全ての予算案が市長の提案どおり可決されました。

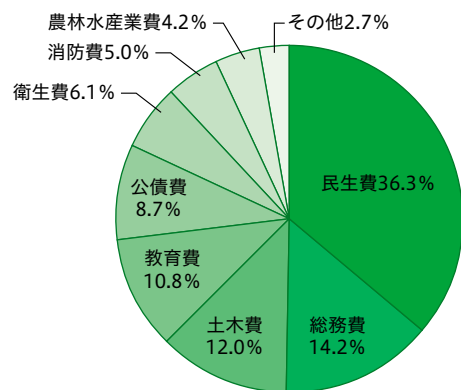
今回決定した令和6年度のお金の使い方と、主な事業についてご紹介します。

会計別予算額

一般会計	231億円
特別会計	
国民健康保険	54億8000万円
公園墓地事業	1300万円
介護保険	50億8000万円
後期高齢者医療	9億1000万円
那珂地方公平委員会	70万円
水道事業会計	
収益的支出	11億9205万8000円
資本的支出	12億5880万1000円
下水道事業会計	
収益的支出	16億9353万7000円
資本的支出	17億5590万8000円



一般会計歳入



一般会計歳出



詳細は
8P

市制施行20周年記念事業

事業費

331万4000円

旧那珂町と旧瓜連町との合併20周年を記念し、式典を開催するとともに、冠事業やロゴマークを広く展開し、今後のまちづくりを考える機運やシビックプライド（地域の誇りと愛着）の醸成を図ります。

複合型交流拠点施設
「道の駅」推進事業

事業費

1億2387万3000円

地元農畜産物等の販路拡大を目的とした直売施設をはじめ、市民交流、防災、高速バス乗降所等の機能を併せ持つ複合型交流拠点施設「道の駅」の基本設計策定に向けた調査を実施します。



学習指導員等配置事業

事業費

1億2361万5000円

心身の発達で配慮が必要な園児や児童生徒の在籍する学級等に、学習・生活の各指導員を配置します。児童等の能力や適性に応じた、きめ細やかな指導、支援を行います。学校現場の労働環境改善にも繋がります。

妊活医療費助成事業

事業費

137万5000円

不妊や不育症に悩む夫婦へ、不妊治療に要する医療保険適用外の費用の一部を助成します。不妊治療（7万5000円）、不育症治療（5万円）などを助成し、経済的負担の軽減を図り、少子化対策の充実を行います。



●令和6年 第1回定例会 ●

那珂市の

こんなことが決まりました

◆会期 18日間 3月11日～3月28日

《傍聴者 149人》

今回提出された議案等は

市長提出案件…33件

請願・陳情…2件

議会提出案件…0件

計35件

提出された議案等とその結果

議案等番号	議案等名	内容	結果
報告1	専決処分について（損害賠償請求に関する和解及び損害賠償の額の決定）	市の過失による事故等に対する損害賠償額の報告。（物損事故：18万2831円）	—
議案1	専決処分について（令和5年度那珂市一般会計補正予算（第8号））	歳入歳出それぞれ1億8946万8000円を増額し、総額を248億9401万3000円とするもの。国による物価高騰対策として、住民税均等割のみ課税世帯重点支援臨時給付金事業や低所得者世帯こども加算臨時給付金事業の計上など。	承認
議案2	那珂市コミュニティセンター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	令和6年6月に「ふれあいセンターすがや」が供用開始することに伴い、名称及び位置、使用料等の規定を追加するもの。	可決
議案3	那珂市空き家等対策協議会設置条例の一部を改正する条例	空家等対策の推進に関する特別措置法の改正に伴い、引用箇所を改正するもの。	可決
議案4	那珂市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	地方自治法の改正により令和6年度から会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給が可能となったことから、国の非常勤職員の取扱いとの均衡及び処遇の確保のため、会計年度任用職員に対し勤勉手当を支給できるようにするもの。	可決
議案5	那珂市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の改正に伴うもの。重要事項のインターネットを利用しての公衆の閲覧に供する義務の追加など。	可決
議案6	那珂市介護保険条例の一部を改正する条例	那珂市高齢者保健福祉計画の策定及び介護保険法施行令の改正に伴い、令和6年度から令和8年度までの保険料率及び減額賦課に係る保険料率について定めるもの。	可決
議案7	那珂市指定地域密着型サービスの事業に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準の改正に伴い、引用箇所を改正するもの。	可決
議案8	那珂市水道事業給水条例の一部を改正する条例		可決
議案9	那珂市水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	水道法の改正に伴い、水道法による権限を厚生労働大臣から国土交通大臣及び環境大臣に移管するもの。	可決
議案10	那珂市消防団員の定員、任免、服務等に関する条例の一部を改正する条例	消防団員の任用要件として、市外に居住し、かつ、市内で勤務する者及び団長が必要と認める者を加えるもの。	可決
議案11	那珂市危険物規制事務手数料条例の一部を改正する条例	地方公共団体の手数料の標準に関する政令の改正に伴い、危険物規制事務手数料を増額するもの。	可決

議案等番号	議案等名	内 容	結果
議案12	水戸・勝田都市計画事業上菅谷駅前地区土地 区画整理事業に関する条例を廃止する条例	上菅谷駅前地区土地区画整理事業の換地処分に伴う清算金が 完納となり事業が完了となるため、条例を廃止するもの。	可決
議案13	那珂市まちづくり振興基金条例	より厳しさを増す本市の財政状況において、不足する一般財 源の確保を図るため、新たに合併特例債による基金造成を目的 として条例を制定するもの。	可決
議案14	那珂市犯罪被害者等支援条例	犯罪被害者等の支援に関し、基本理念や犯罪被害者等の支援 に関する基本事項を定めるもの。	可決
議案15	令和5年度那珂市一般会計補正予算 (第9号)	歳入歳出それぞれ6190万7000円を減額し、総額を248億3210万 6000円とするもの。各事業における契約額、所要額の確定等 による事業費の減額など。	可決
議案16	令和5年度那珂市国民健康保険特別会計 (事業勘定)補正予算(第2号)	歳入歳出それぞれ50万円を増額し、総額を54億2011万3000円 とするもの。一般被保険者療養費の見込額の増に伴う負担金 の増額。	可決
議案17	令和5年度那珂市介護保険特別会計 (保険事業勘定)補正予算(第3号)	歳入歳出それぞれ5772万円を増額し、総額を49億767万8000円 とするもの。高額介護サービスの給付見込額の増に伴う負担 金の増額など。	可決
議案18	令和5年度那珂市後期高齢者医療特別会計 補正予算(第1号)	歳入歳出それぞれ1242万6000円を増額し、総額を8億6242万 6000円とするもの。広域連合納付金における保険料納付金の 見込み増に伴う負担金の増額など。	可決
議案19	令和6年度那珂市一般会計予算	新年度予算。4～5ページを参照。	可決
議案20	令和6年度那珂市国民健康保険特別会計 (事業勘定)予算		可決
議案21	令和6年度那珂市公園墓地事業特別会計予算		可決
議案22	令和6年度那珂市介護保険特別会計 (保険事業勘定)予算		可決
議案23	令和6年度那珂市後期高齢者医療特別会計 予算		可決
議案24	令和6年度那珂市地方公平委員会特別会計予算		可決
議案25	令和6年度那珂市水道事業会計予算		可決
議案26	令和6年度那珂市下水道事業会計予算		可決
議案27	市道路線の認定について		市道路線2件を認定するもの。
議案28	公の施設の広域利用に関する協議について	公の施設の広域利用について、対象施設の追加に伴い、改めて 協議し協定を締結するもの。	可決
議案29	那珂市税条例の一部を改正する条例	地方税法等の改正に伴い、令和6年能登半島地震の個人住民 税に係る雑損控除の特例措置を追加するもの。	可決
議案30	那珂市監査委員の選任について	監査委員の任期満了に伴い、新たに萩谷俊行氏を選任するもの。	同意
議案31	那珂市教育委員会委員の任命について	教育委員会委員の任期満了に伴い、新たに長岡秀雄氏を任命 するもの。	同意
議案32	人権擁護委員の推薦について	人権擁護委員の任期満了に伴い、引き続き阿久津利江氏と、 新たに縮正美氏を推薦するもの。	同意
陳情1	地球温暖化に耐える那珂市の取り組みに関 する陳情等	請願・陳情の内容は9ページを参照。	不採択
陳情2	瓜連地区説明会に関する情報公開の陳情		不採択

賛否が分かれた議案等

○：賛成 ×：反対

※議長（木野広宣議員）は採決に加わりません。

議案等名	結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
		榊原一和	桑澤直亨	原田悠嗣	木野広宣	鈴木明子	渡邊勝巳	寺門勲	小池正夫	小宅清史	大和田和男	富山豪	花島進	寺門厚	萩谷俊行	笹島猛	君嶋寿男	遠藤実	福田耕四郎
議案第19号 令和6年度那珂市一般会 計予算	可決	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

※公立学童保育事業の民間事業者への運営委託について反対討論がありました。

◆議案第19号

令和6年度那珂市

一般会計予算

○AED整備・

普及促進事業

(197万6000円)

市民に対してAEDの取り扱いや心肺蘇生法、止血法等の各講習会を実施し、AEDを含んだ応急手当の必要性を訴え、一時救命処置の普及啓発を行うものです。

Q 新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことで各講習会の回数は増えたのでしょうか。

A 昨年の救命講習や応急手当講習等の開催総数は、60件となっており、コロナ禍以前の令和元年の実績71件と比べると近い回数に戻ってきています。

Q 昨年、女性への配慮だけでなく、止血や固定処置にも活用できる三角巾を

AEDに入れる方向で検討中とのことでしたが、今回の予算には入っていないのでしょうか。

A 令和5年度予算内において、市内全ての公共施設にAEDに三角巾を配備しました。



産業建設常任委員会

◆議案第19号

令和6年度那珂市

一般会計予算

○複合型交流拠点施設

「道の駅」推進事業

(1億2387万

3000円)

那珂インターチェンジ周

辺地域の「まちづくりの方針」及び令和4年度に策定した複合型交流拠点施設「道の駅」整備基本構想・基本計画の内容を踏まえ、各種準備委員会での協議を行いながら管理運営体制の構築を図るとともに、道の駅整備に向けた測量調査や基本設計の策定等を実施するものです。

Q 予算の詳しい内容を教えてください。

A 測量設計では、計画予定地の一筆地調査や必要な土量を把握するための縦横断面測量、整備予定の外周道路や交差点の測量設計を実施します。基本設計では、土地のゾーニングや建物の規模・デザイン等を設計し、再度収支構造を計算します。物件調査では、現地にある看板や井戸等の調査を行い、アドバイザリー業務は、令和5年度に引き続き、各種準備委員会の運営支援業務を委託するものがあります。

Q 今回、測量設計や基本

設計の策定の予算が計上されているのは、道の駅整備を具体的に進めていくということでしょうか。

A 具体的に道の駅を進めるということではなく、次の基本設計の内容によって判断をしたいとのこと意見もあり、必ずしも道の駅を整備まで進めるということではありません。

Q 那珂市内にもいくつか直売所があります。供給がある程度限られると思いますが、供給体制は大丈夫なのでしょうか。

A 「出荷者組合設立準備委員会」を立ち上げて、現在検討を進めています。市内農業者のかたがたは大変意欲があり、近くに売れる場所があれば、積極的に出荷したいといった意見を伺っています。現在の計画では、出荷者組合で賄う部分として、約6割の直売率を目指していることから、今年度は出荷に関するアンケート調査を実施する予定です。

※ゾーニング…地域や建物を用途や機能によって区分すること。

◆議案第19号

令和6年度那珂市

一般会計予算

○ひとり暮らし高齢者等

緊急通報システム事業

(384万7000円)

ボタン一つで消防署に連絡できたり、地域包括支援センターに相談電話できるシステムの普及を図ることで、高齢者等の日常の不安を解消することを目的としています。

Q どういう形でひとり暮らしの高齢者のかたに普及させていきますか。

A 高齢者の相談窓口として各3圏域にある地域包括支援センター職員の訪問時や、各地区の民生委員がお声かけし、希望されるかたに申請をいただいています。

Q 申請すれば無償で設置していただけるということですか。

A 無償ではなく、所得段階に応じて、一部個人負担をいただいています。所得が年金のみのかたは無償になる場合もあります。

Q 実際、市内での稼働はどのくらいありますか。

A 市内に約200件設置しています。65歳以上の1人世帯は、令和2年の調査で2422世帯ですので、約10%の世帯に設置しています。

Q システム利用で、実際に救急車を呼んだ件数はどのくらいありますか。

A 令和6年1月末で、緊急通報の件数が43件、救急の出勤が7件。7件のうち病院等に搬送したのは5件、誤報が35件でした(その他消防車出勤1件)。



緊急通報装置

請

願

陳

情

今回の定例会で採決した請願・陳情の概要をお知らせします。

《陳情 2件》

陳情第1号

地球温暖化に耐える那珂市の取り組みに関する陳情等

那珂市瓜連691 萩野谷 一二

不採択

地球温暖化について市としての取り組みにはどのようなものがあるのか、またホームページをだれにでもわかるようにしていただきたいという内容です。審議の中では、議会への陳情ではなく執行部への要望という意見が出ました。本会議での採決の結果、不採択となりました。

陳情第2号

瓜連地区説明会に関する情報公開の陳情

那珂市瓜連691 萩野谷 一二

不採択

1月28日に開催された瓜連地区の説明会の議事録などの情報公開を求めるものです。審議の中では、瓜連地区まちづくり委員会主催の説明会であるため、まちづくり委員会へ要望すべきとの意見が出ました。

本会議での採決の結果、不採択となりました。

一般質問

Q & A

《質問者 9名》

※一般質問の記事は、質問した議員が各自で作成しており、内容や表現については各議員の文責において掲載しています。

P 11 榊原 一和 議員

- ◇学校現場における働き方改革について
- ◇特殊ごみ排出について

P 11 富山 豪 議員

- ◇有機農業について
- ◇難病支援について
- ◇いい那珂暮らしについて

P 12 寺門 勲 議員

- ◇本市のゼロカーボンシティ実現に向けた取り組みについて
- ◇大雨による災害に備えた危機管理体制について
- ◇国際交流事業の推進について

P 12 鈴木 明子 議員

- ◇中学校制服や、体操服について
- ◇学校給食について

P 13 原田 悠嗣 議員

- ◇市政運営について
- ◇「道の駅」建設について
- ◇郷土教育について

P 13 花島 進 議員

- ◇東海第2原発問題について
- ◇高等教育への支援について
- ◇学校給食費について
- ◇物価高騰対策と市内中小事業者の経営について
- ◇国民健康保険税について
- ◇水道事業の県事業への統合について

P 14 寺門 厚 議員

- ◇市長の令和6年度施政方針「活力あふれる交流とにぎわいのまちづくり」について
- ◇那珂市防災体制について
- ◇「こども家庭センター」について
- ◇太陽光発電設備設置及び管理について

P 14 小宅 清史 議員

- ◇那珂市の農業の実態について考える
- ◇那珂市のふるさと納税について考える
- ◇道の駅について考える

P 15 福田耕四郎 議員

- ◇那珂市における土地利用規制について

各質問者の下にあるQRコードを読み込むと一般質問の様子を見ることができます。

榊原 一和議員

学校現場における働き方改革について

超過勤務の教員は現時点ではない



Q 平成28年度教員勤務実態調査で、看過できない教職員の勤務実態が明らかとなりました。文科省では、教職員の学校における働き方改革を進めています。本市の学校現場における働き方改革は、どこまで進んでいますか。

A 教育部長 令和2年度に、「働き方改革検討委員会」を立ち上げ、学校現場の現状に則し、実効性のある取り組みを進めており、教員の業務負担を軽減しています。過労死ラインの月80時間以上超過勤務する教員は、本年度現時点ではありません。

Q 働き方改革は勤務時間を短くすることばかりに主眼が置かれ、業務量に改革のメスが入れられていない

のではないのでしょうか。

A 教育部長 改革の本来の目的は、業務内容の見直しや効率化により、児童生徒に向き合う時間を作り、教育活動を充実させることです。学校が担うべきもの、地域など学校以外が担うべきものというように、業務内容を分類、見直すことで、業務の削減を進めています。中学校の部活動では、適切な活動時間の設定や、地域の人材を外部指導者として配置しています。削減で生み出した時間を、教材研究や授業改善に充てるなど、働きがいにつながる改革となるよう進めていきます。

議員のひとこと

教職員用のプライベート空間の設置を提案します。

富山 豪議員

18歳未満の子どもから通院費用の助成をお願いしたい

現在の助成を活用してほしい



Q 本市では現在、難病患者数の把握はできていますか。また、その中で18歳未満の子どもの数はどれくらいでしょうか。

A 保健福祉部長 難病患者数については県が認定を行っており、受給者証の交付状況を確認したところ、令和5年3月31日現在、460名で、そのうち18歳未満は34名となっています。

Q この難病には共通の特性として正確な診断までに大変な時間を費やしたり、長期にわたる治療や高額な治療費、またさまざまな心理負担などが言われており、患者やその家族にかかる負担は大きいと考えます。そこで、まず18歳未満の34名から保護者の経済負担軽減、さらには子育て支

援の観点からも通院費用の助成拡充をお願いしたいですが、考えを伺います。

A 保健福祉部長 通院費用の支援については、県が交付する受給者証を持つまたは1回の乗車につき1200円、年間2万8800円を上限とするタクシー利用券が利用できます。また同様にひまわりタクシーでは、1人1回の利用につき100円で利用ができます。難病等で通院されているかたがたの交通費の支援は、年齢にかかわらず必要ですので、現在実施している助成を活用していただければと考えています。

議員のひとこと

十分な助成とは言い難い。さらなる支援拡充を願う。

寺門 勲議員

温室効果ガス排出実質 ゼロを実現するためには

省エネルギー設備への更新など



Q 2050年度温室効果ガス排出実質ゼロを実現するための施策と推進体制は。また、現在の施策の推進状況について伺います。

A 市民生活部長 省エネルギー設備や機器への更新など省エネ化を促す情報提供や普及啓発など、様々な施策があります。推進体制の取り組みは、市民、事業者、市民自治組織、環境に関わる市民活動団体、市等が主体となっています。推進状況は、公用自動車の電気自動車の導入や、脱炭素に資する取り組みをしています。

Q 2030年度を節目とした、温室効果ガス排出量数値目標はどのくらいを設定していますか。

A 市民生活部長 市内の

温室効果ガス排出量の現状や産業構造、再生可能エネルギーポテンシャルなどを調査し検証して算定します。

Q 目標の達成には、何が大事だと考えますか。

A 市民生活部長 市役所だけでなく、市民、事業者が自らのこととして取り組んでいくことが大事であると考えます。資源の効率的な使用やリサイクルに配慮した生活スタイルへの変容などについて、各主体が理解し、取り組みへと行動に移す意識を持つことが、目標達成には大事なことであり、と考えています。

議員のひとこと

豊かな環境を次世代に引き継ぐため積極的な推進を。

鈴木 明子議員

地場産のオーガニック給食 推進について

将来に向けた展望を見通していく



Q 現在は、「地場産のオーガニック給食」が全国で、広がりを見せています。学校給食は子どもたちの体をつくるだけでなく、健康教育の一環です。日本では、世界に比べて、オーガニック食材に対する認知が遅れているのが実情であります。それが、それが学校で学べるとなればさらなる普及が見込めると考えます。地場産品の使用率を上げるため、どのような取り組みをしていますか。

A 教育部長 「那珂市地場産会議」を立ち上げ、カボチャなどの特産品の活用策をはじめ、大量の食材を調達するため、どの時期に、どの野菜を、どれくらい作付けするかといった計画生産の体制構築など、具体的

な取り組みを協議しています。

Q 近隣市町村でも、オーガニック給食が徐々に始まっていますが、今後那珂市における地場産オーガニック食材の給食への導入のお考えはいかがでしょうか。

A 教育部長 「地場産会議」の中で、先進事例について情報提供することから始め、農業者側・センター側双方の課題を共有し、できることはなにか、どこから始めればいいのか、といった将来に向けた展望を見通していきたいと考えます。

議員のひとこと

これからの生きる全ての人のために、前向きな議論を。

原田 悠嗣議員

「道の駅建設」に関する再アンケートの実施は

現時点では考えていない



Q 市民との信頼関係を築くためにもしっかりと「道の駅」建設に関する情報提供をした上で、「協働のまちづくり」の理念に基づき、「道の駅」建設に関して市民の関心が高まっているこのタイミングで改めて「道の駅」建設に対して賛成か反対かのアンケートを実施することが必要と考えますが、いかがでしょうか。

A 産業部長 市民代表や市内事業所、有識者で構成する「活力あふれるまちづくり検討委員会」を設置し、那珂IC周辺地域における道の駅整備の実現に向けた検討をはじめ現在に至っているところです。

これまでも事業の実施にあたっては、各年度、事業内容や進捗状況について

て、議会や市ホームページ等において、その都度ご報告をさせていただきながら継続的に事業を進めているといった経緯もありますので、現時点では、議員ご提案の市民アンケートの実施については考えていません。



那珂インターチェンジ周辺

議員のひとこと

道の駅に関する再アンケートを提案します。

花島 進議員

県公開の放射能放出シミュレーションをどう見るか

一つのパターンと見ています



Q 茨城県は日本原電が計算した東海第二原発事故の放射能放出シミュレーションを公表しました。そして、広域避難計画の根拠にしようとしています。無理があります。

理由は、放射能放出量について極めて甘い見通しを基にしていることです。最低でも福島第一の54%の放出量を考えるべきです。

A 市民生活部長 今回のシミュレーションは、事故想定の一つのパターンと捉えており、広域避難計画の実行性検証の一つの材料に活用できると考えています。

Q 能登の地震では交通網が破壊されました。東海第二が地震によって大きな被害を受けた場合、程度の差はあれ交通に大きな障害が

生じることは、2011年の地震でも経験済みです。日本の場合、原発の事故原因として、大きな地震が真つ先に考えられているにもかかわらず、県や一部の自治体では複合災害を考えた避難計画で当面よしとしています。那珂市はどうですか。

A 市民生活部長 複合災害に対する対応が課題であることは認識しています。現時点では、単独災害に対する避難計画を策定することが第一であり、それを基に複合災害に対する対応の検討に進むものと考えています。

議員のひとこと

県のさまざまな考えに惑わされてはなりません。

寺門 厚議員

市長が描く那珂インター周 辺活性化のまちづくりとは

人が集い賑わいと活力を生むまち



Q 市長が目指す「活力ある交流とにぎわいのまちづくり」の中で、那珂インター周辺の活性化のまちづくりについて、10年後、20年後を見据えて、市長は具体的にどのようなまちづくりをしていきますか。

A 市長 那珂市は、平坦で自然豊かな土地に位置し、国道やJR駅、商業施設、学校、病院などが利便性の高い距離にあり、住みよさが十分に備わっています。市の発展には活力が必須であり、特に那珂インターチェンジは「県北の玄関口」として、農産物や地域産品の販売、世代間・地域間交流の拠点として、道の駅の整備を進めています。また、都市計画道路の整備や国道118号の4車

線化も進行中で、産業誘致を通じて市民サービス向上を目指しています。那珂インターチェンジ周辺は、人々が集まり、交流が生まれる地域です。都市と自然をつなぎ、来訪者と市内の観光施設や県北地域をつなぎ、人と那珂市の農産物や特産品をつなぎ、またそこに産業による雇用を創出し、にぎわいがあり活力を生む地域として発展させ、次世代につないでいきたいと考えています。

議員のひとこと

活性化のまちづくり、もっと具体的に、市民へ説明を。

小宅 清史議員

道の駅を運営する三セクが 赤字の場合、市の補填は

持続可能な運営を目指していく



Q 道の駅は、建設コストに係る償却費、巨大施設の維持管理費、光熱費などの多額の費用負担が予想されます。施設が大きくなればなるほどランニングコストは大きくなりそれだけ売上げを出していかなければなりません。そして実際に利益を享受できる地元市民とこののは非常に限定的だと考えざるを得ません。多額の建設費、運営費を税金で負担する市民のほとんどは、そこには関与しないというのが現状だと考えると、公共施設であるが公共性は乏しくコストに対するリターンも少ないと思われる。状況をよく見極め

もっと十分検討する必要があります。運営は第三セクターでの運用を検討

しているということですが、三セクが赤字に陥った場合、市の補填はどのようなのでしょうか。

A 産業部長 運営面においては経営が赤字の場合、行政が補填とするといったことが懸念されます。しかし、第三セクターの経営は基本的に独立採算制で行われ、施設の運営手法や形態次第で多くの道の駅が健全な経営を行っておりその効果を地域経済へ波及させ産業の活性化につなげている状況であることから、本市においても十分な協議を重ねて、持続可能な第三セクターの設立を目指します。

議員のひとこと

市長がリーダーシップを持ち取り組んでいただきたい。

福田 耕四郎議員

地域の発展につながる 土地利用規制の見直しを

具体的な計画には見直しも必要



Q 市がさらに発展するには、市内全域にわたる土地利用の規制を見直し、開発につなげる必要があります。農用地区域の指定の見直しの考えを伺います。

A 産業部長 令和6・7年度にかけて、農用地等の面積、土地利用、農業就業人口の規模の現況及び将来の見直し等の基礎調査を行い、優良農地を確保しつつ、現状に即した「農業振興地域整備計画」の総合的な変更を予定しています。

除外については、公益性の高い事業用地に加え、土地改良事業等の区域のうち、非農地区域の土地、荒廃農地で非農地判定された土地、地形などの条件により一体的な利用が困難な小規模農地といった要件を確

認し、関係機関と協議して実施していきます。

Q 農用地指定の見直しを含めた市全体の土地利用の見直しについて伺います。

A 企画部長 地域の活性化につながる土地利用を考えていくことは大切です。都市計画の線引きがされ、市の土地利用計画の基本ができてから50年が経過し、農地の利用状況や社会情勢も変化しています。今後、具体的な計画性のある土地利用の要望がある場合には、スピード感をもった土地利用の見直しも必要であると考えています。

議員のひとこと

様々な知恵を最大限に活かし、発展に結びつく施策を。

トピックス

閉会中 議会活動レポート

定例会閉会中（12月～2月）の那珂市議会の主な活動をご紹介します

活動日誌

12月	15日	議会広報編集委員会
	22日	議会広報編集委員会
1月	5日	議会広報編集委員会◎
	26日	全員協議会
2月	28日	新任議員説明会 ◎…オンライン形式で開催

那珂市議会では、1月26日、令和6年能登半島地震に対し、北信越市議会議長会へ義援金14万円を送金させていただきました。被災されたかたがたへお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復興を心よりお祈りいたします。



まちかど

ニュース

「美那の会」のつるし雛

令和6年3月16日(土)
戸多地区交流センターにて

次回6月定例会

日	月	火	水	木	金	土
5/26	27	28	29	30	31	6/1
2	3	4 本会議 (議案上程など)	5	6 本会議 (一般質問)	7 本会議 (一般質問など)	8
9	10	11 総務生活 常任委員会	12 産業建設 常任委員会	13 教育厚生 常任委員会	14 原子力安全対策 常任委員会	15
16	17	18	19	20 議会運営委員会 全員協議会	21 本会議 (委員長報告、 議案等採決)	22
23	24	25	26	27	28	29

※会議は、原則として午前10時開会です。

令和6年第2回定例会：6月4日～6月21日

令和6年第2回(6月)定例会の日程(案)は左のとおりです。

会議は原則公開となっており、お住いの地区と年代を所定の用紙にご記入いただくだけで、どなたでも傍聴できますので、お気軽にお越しください。

また、請願・陳情を議会へ提出される場合は、5月24日(金)17時までに、議会事務局までご提出ください。

議会映像を公開しています

那珂市議会では定例会、臨時会の本会議の映像を「YouTube」の動画サイトで公開しています。詳しくは、那珂市ホームページの「那珂市議会」のページをご覧ください。

那珂市議会

検索

(「那珂市議会」のページ内の「映像配信」から「YouTube」を開くことができます。)



編集後記

春は別れの季節。しかし、出会いの季節でもあります。議会もメンバーが一新し、4年間の新たな船出となりました。未来への行先は、穏やかな航海ばかりではありません。しかし、これからの那珂市はどうなる？そう考えるとドキドキワクワクしませんか。那珂市丸は、5万3000人のクルーの皆様と共に、希望の大海原を旅して行きます。那珂市議会をどうぞ宜しくお願いします。
(榊原 一和)

議会広報編集委員会

委員長 榊原 一和
副委員長 寺門 勲
委員 桑澤 直亨
委員 原田 悠嗣
委員 鈴木 明子
委員 富山 豪